

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践

(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童が在籍する小学校に、発達支援教室を開設し、あわせて発達支援教室支援員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	118,320					
決算	110,151					
人件費(A)	1,680					
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	111,831					

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校発達支援教室数	教室	目標	61	64	67	70	73	76
		実績	61					
スクールヘルパーの配置数	人	目標	94	97	100	103	106	109
		実績	94					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童が在籍する小学校に、発達支援教室を開設し、あわせて発達支援教室支援員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

計画通り、小学校3校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教室支援員を3人配置した。あわせて、特別な支援を要する児童が在籍する小学校にはスクールヘルパーを配置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	発達支援教育指導員等配置事業	○	○	○	○							
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育指導員等配置事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童が在籍する小学校に、発達支援教室を開設し、あわせて発達支援教室支援員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.81】
 発達支援教室支援員等配置事業
 ・発達支援教室の開設(1教室に1人発達支援教室支援員を配置)
 ※R2から「発達支援教育指導員」を「発達支援教室支援員」に名称変更
 ・スクールヘルパーの配置

※令和2年度からは「教職員管理費 教職員管理運営経費」に統合

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校スクールヘルパー設置要綱外	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	118,320					
	決算	110,151					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	110,151					
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,680					
人工	正規	0.2					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.5	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

発達支援教育の充実を図るため、発達支援教室の増設、発達支援教室支援員・スクールヘルパーの増員を行い、特別な支援を要する児童の適切な学習機会を確保していく。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
小学校発達支援教室数(教室)					-		81
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	58	61	64	67	70	73	76
実績値	58	61					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
スクールヘルパーの配置数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	91	94	97	100	103	106	109
実績値	95	94					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・発達支援教室の開設(1教室に1人発達支援教室支援員を配置)
- ・スクールヘルパーの適正配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り、小学校3校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教室支援員を3人配置した。あわせて、特別な支援を要する児童が在籍する小学校にはスクールヘルパーを適正配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通りに事業を進めることはできたが、発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童は増加していることから、発達支援学級や通常学級に配置するスクールヘルパーの増員が求められる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童は増加していくため、学校現場のニーズ・状況に合わせて発達支援教室の増設や支援員の増員を行う必要がある。また、限られた人材を有効的に活用していくために、適正な職員配置も求められる。

令和2年度からは「教職員管理費 教職員管理運営経費」に統合

令和2年度

(管理番号)
0202040100510500001

(担当課)
教職員課

(責任者)
高橋 宏典

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 発達支援教育指導員等配置事業

【完了】

◇【R1～R4】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
81	発達支援教室 61教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 64教室開設 ※1教室に1人発達支援 教室支援員を配置。	発達支援教室 67教室開設 ※1教室に1人発達支援 教室支援員を配置。	発達支援教室 70教室開設 ※1教室に1人発達支援 教室支援員を配置。
〇〇				

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践

(予算費目名) 中学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校に、発達支援教室を開設し、あわせて発達支援教室支援員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	48,049					
決算	44,376					
人件費(A)	980					
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	45,356					

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中学校発達支援教室数	教室	目標	31	33	35	37	39	41
		実績	31					
スクールヘルパーの配置数	人	目標	32	34	36	38	40	42
		実績	32					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校に、発達支援教室を開設し、あわせて発達支援教室支援員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

計画通り、中学校2校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教室支援員を2人配置した。あわせて、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校にはスクールヘルパーを配置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	発達支援教育指導員等配置事業	○	○	○	○						
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計											

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育指導員等配置事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校に、発達支援教室を開設し、あわせて発達支援教室支援員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.81】
 発達支援教室支援員等配置事業
 ・発達支援教室の開設(1教室に1人発達支援教室支援員を配置)
 ※R2から「発達支援教育指導員」を「発達支援教室支援員」に名称変更
 ・スクールヘルパーの配置

※令和2年度からは「教職員管理費 教職員管理運営経費」に統合

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校スクールヘルパー設置要綱外	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	48,049					
	決算	44,376					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	44,376					
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		980					
人工	正規	0.1					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

発達支援教育の充実を図るため、発達支援教室の増設、発達支援教室支援員・スクールヘルパーの増員を行い、特別な支援を要する生徒の適切な学習機会を確保していく。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中学校発達支援教室数(教室)					-		81
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	29	31	33	35	37	39	41
実績値	29	31					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
スクールヘルパーの配置数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	30	32	34	36	38	40	42
実績値	29	32					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・発達支援教室の開設(1教室に1人発達支援教室支援員を配置)
- ・スクールヘルパーの配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り、中学校2校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教室支援員を2人配置した。あわせて、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校にはスクールヘルパーを適正配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通りに事業を進めることはできたが、発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒は増加していることから、発達支援学級や通常学級に配置するスクールヘルパーの増員が求められる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒は増加していくため、学校現場のニーズ・状況に合わせて発達支援教室の増設や支援員の増員を行う必要がある。また、限られた人材を有効的に活用していくために、適正な職員配置も求められる。

※令和2年度からは「教職員管理費 教職員管理運営経費」に統合

令和2年度

(管理番号)
02 02 04 02 005105000 01

(担当課)
教職員課

(責任者)
高橋 宏典

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 発達支援教育指導員等配置事業

【完了】

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
81	発達支援教室 31教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 33教室開設 ※1教室に1人発達支援 教室支援員を配置。	発達支援教室 35教室開設 ※1教室に1人発達支援 教室支援員を配置。	発達支援教室 37教室開設 ※1教室に1人発達支援 教室支援員を配置。
〇〇				

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

- 不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止、早期発見、早期対応、外国人児童生徒の支援等を行っていくため、教育相談体制を充実していく。
- 就学支援委員会や幼児ことばの教室の運営を行う。
- 子どもの才能や得意を伸ばすため、意欲や能力に応じた学びの場を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	391,616	164,256				
決算	366,876					
人件費(A)	138,600	150,500				
報酬(B)		213,886				
年間経費(予算又は決算+A+B)	505,476	528,642				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
教育総合支援センター及び各区における相談件数	件	目標	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1400
		実績	1,308					
市内小中学校の不登校児童生徒数	人	目標	930	930	930	930	930	930
		実績	1,456					
日本語を必要とする児童生徒への支援達成率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	99					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- 不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止・早期対応、外国人児童生徒の支援等を行っていくため、教育相談体制を充実していく。
- 心身に障害のある子供の教育の充実を図る。
- 子どもの才能や得意を伸ばし、地域に根ざす優れた人材を地域で育てる。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止・早期対応、外国人児童生徒の支援等を行った。 就学支援委員会の判定数は目標数を上回った。今後は保護者への周知と理解を進めていく。 幼児ことばの教室の設置校が増えていかない。利用者や設置する学校の状況などを考慮して設置の検討を進めていく。 理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	発達支援教育推進事業	○	○	○		115,533	47,483	5.4			6.0	13,450
2	外国人子供教育支援推進事業	○	○	○		145,481	46,580	2.0			5.0	70,901
3	生徒指導事業	○	○	○		31,654	4,085	2.8			2.0	2,369
4	教育相談推進事業	○	○	○		138,171	5,720	1.6			6.0	104,451
5	不登校児支援推進事業	○	○	○		91,903	55,888	1.5			1.0	22,715
6	理科・ものづくり教育支援事業 (負担金)	○				5,900	4,500	0.2				
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						528,642	164,256	13.5			20.0	213,886

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
02 02 04 03 005110000 01

(担当課)
指導課

(責任者)
野秋 愛美

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

すべての子供に適正な教育を提供するため、調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図る。また、学習障害等のある子供にきめ細かな指導を行うよう体制の整備を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.81】

- ・就学支援委員会の運営
- ・幼児ことばの教室の運営

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	—	一般会計	自治事務(その他)	学校教育法、発達障害者支援法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	35,095	47,483				
	決算	30,238					
	国・県支出	4,753	13,006				
	市債						
	その他	30	45				
	一般財源 一般会計繰入金	25,455	34,432				
人件費(報酬等) (千円)			13,450				
人件費 (千円)		58,800	54,600				
人工	正規	6.0	5.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	6.0	6.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5,4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
就学支援委員会判定数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,170	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400	1500
実績値	1,319	1,525					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
幼児ことばの教室設置校数(校)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	11	11	12	13	14	14	15
実績値	10	10					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
発達支援学級数(教室)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		321	340	360	380	400	420
実績値	286	322					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・就学支援委員会の運営
- ・幼児ことばの教室の運営

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・就学支援委員会判定数が目標数以上となった。今後も保護者への周知と理解をすすめていきたい。
- ・幼児ことばの教室設置校については、利用者や設置する学校の状況などを踏まえ、設置について検討していきたい。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいを持つ幼児・児童・生徒が増加傾向にあることから、就学相談件数や就学支援委員会に諮る件数が増加している。また、内容も多様化しているおり、教育的ニーズや保護者等に対するサポート体制をより一層充実させる必要がある。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいを持つ幼児・児童・生徒が増加傾向にあることから、就学相談や就学支援委員会の充実に努め、適切な就学先を提供できるように努める。
幼児ことばの教室の利用者数などの状況を把握し、設置について検討していく。

補助シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
81	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。

事業シート (事業名) 外国人子供教育支援推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 外国人の子供が抱える課題が多様化する中、教育支援体制や支援内容の充実を図ることで、共生社会の一員となる外国人の子供の学習や成長を支援する。
 【事業対象】 市立小中学校

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.83】
 外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人児童生徒就学支援員設置要綱、外国人児童生徒就学サポーター設置要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	118,551	46,580				
	決算	107,928					
	国・県支出	20,741	1,389				
	市債						
	その他						
	一般財源	87,187	45,191				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)			70,901				
人件費 (千円)		25,200	28,000				
人工	正規	2.0	2.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0	5.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.2、4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
日本語指導を必要とする児童生徒への支援達成率(%)					-		83
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	99	100	100	100	100	100	100
実績値	99	99					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置した。
- ・学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行った。
- ・小学校入学予定の幼児と保護者に対する初期適応指導(プレスクール)を開催した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

外国人児童生徒就学サポーターや相談員等の配置により、外国人児童生徒の学習や成長を支援した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

就学サポーターを増員し、初期適応指導の実施方法を見直し、より多くの外国人児童生徒等に適切な支援ができるよう改善する。また、小学校入学予定の幼児と保護者に対する初期適応指導(プレスクール)を開催する。

補助シート (事業名) 外国人子供教育支援推進事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
83	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。

令和2年度

(管理番号)
02 02 04 03 005110000 03

(担当課)
指導課

(責任者)
野秋 愛美

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 生徒指導事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 児童生徒の不登校、問題行動の未然防止及び早期発見、早期解決を図り、どの子供も夢と希望を持って学ぶことができる学校づくりを進める。
【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【生徒指導推進事業】
生徒指導上の諸問題等により、緊急対応の必要がある学校に生徒指導推進協力員を派遣する。また、児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、いじめ対策等専門家チームを設置し、学校に対し指導・助言を行うとともに、インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校ネットパトロール調査を行う。

【スクールソーシャルワーク事業】【R1-R4重点戦略項目No.67、No.68】
家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10		一般会計	自治事務(その他)	浜松市スクールソーシャルワーカー活用事業実施要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	45,985	4,085				
	決算	44,273					
	国・県支出	14,044	1,136				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	30,229	2,949				
人件費(報酬等) (千円)			2,369				
人件費 (千円)		18,200	25,200				
人工	正規	2.6	2.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		2.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市内小中学校における問題行動の発生件数(件)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	390	390	350	350	350	350	350
実績値	276	204					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
スクールソーシャルワーカーの配置数(人工)					-		67,68
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	12	12	14	15	15	15	15
実績値	12	12					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【生徒指導推進事業】

生徒指導上の諸問題等により、緊急対応の必要がある学校に生徒指導推進協力員を1人派遣する。また、児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、いじめ対策等専門家チームを設置し、学校に対し指導・助言を行うとともに、インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校ネットパトロール調査業務を委託により行う。

【スクールソーシャルワーク事業】

家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【スクールソーシャルワーク事業】

家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを11人工を拠点校に、1人を指導課に配置し、必要に応じて周辺校に派遣した。

【生徒指導推進事業】

生徒指導上の諸問題等により、緊急対応の必要がある学校に生徒指導推進協力員1人を派遣した。また、児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、いじめ対策等専門家チームを設置し、学校に対し指導・助言を行うとともに、インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校ネットパトロール調査業務を委託により行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・拠点校にスクールソーシャルワーカーを11人工配置し、生徒指導上の問題に対応した。
- ・指導課にスクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーを配置して、スクールソーシャルワーカーを支援した。児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行うため、生徒指導推進協力員を派遣した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スクールソーシャルワーカーを増員して、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図っていく。
- ・スクールカウンセラーを増員して、児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行っていく。

補助シート (事業名) 生徒指導事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
67 68	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。

事業シート (事業名) 教育相談推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 教育に関する様々な相談に対応するため、教育総合支援センターに相談員を配置し、支援を行う。また、心理状態や精神状態の見極めを必要とする相談等にも対応できるよう、スクールカウンセラーを学校に配置・派遣する。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【教育相談支援事業】

外部専門家や専門事業者等の活用により、内容が複雑化、多様化している教育相談やいじめ相談等に対応する。

【スクールカウンセリング事業】【R1-R4重点戦略項目No.66、No.68】

いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全小中学校・市立高校に配置する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20		一般会計	自治事務(その他)	家庭訪問相談員派遣事業実施要綱、教育相談支援センター心理専門実施要綱、教育相談支援センター研修会実施要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	117,594	5,720				
	決算	113,000					
	国・県支出	34,145	1,770				
	市債						
	その他						
	一般財源	78,855	3,950				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)			104,451				
人件費 (千円)		22,400	28,000				
人工	正規	1.6	1.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0	6.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
教育総合支援センター及び各区における相談件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
実績値	1,434	1,308					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
スクールカウンセラーの配置総時間数(時間)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	19,474	20,319	20,980	21,520	21,820	22,270	22,720
実績値	19,474	19,875					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

外部専門家や専門事業者等の活用により、内容が複雑化、多様化している教育相談やいじめ相談等に対応する。
【スクールカウンセリング事業】
 いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全小中学校・市立高校に配置する。

・事業の成果と課題

指標の達成度
 計画通り

・心理専門相談員を配置し、教育相談やいじめ相談に対応した。
 ・24時間いじめ電話相談業務を行った。

【スクールカウンセリング事業】
 ・いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、66人のスクールカウンセラーを市立小中学校、市立高等学校に配置した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・スクールカウンセラーを66人工に増員して、児童生徒や保護者の悩みに対応した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

外部専門家や専門事業者等の活用により、教育相談やいじめ相談等に対応する。
いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全小中学校・市立高校に配置する。

補助シート (事業名) 教育相談推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
66 68	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。

事業シート (事業名) 不登校児支援推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 不登校児童生徒の自立を促すため、学校や家庭、専門機関と連携して支援を行う。
【事業対象】 市立小中学校

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.82】

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供のための校内適応指導教室を設置し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3		一般会計	自治事務(その他)	浜松市不登校児支援協議会設置要綱、不登校児のための適応指導教室実施要項	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	69,891	55,888				
	決算	66,937					
	国・県支出	2,508					
	市債						
	その他						
	一般財源	64,429	55,888				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)			22,715				
人件費 (千円)		13,300	13,300				
人工	正規	1.5	1.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市内小中学校の不登校児童生徒数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	930	930	930	930	930	930	930
実績値	1,317	1,456					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
校内適応指導教室の設置数(箇所)					II-2(2)ウ		82
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		15	20	25	25	30	30
実績値	15	15					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
校外適応指導教室の設置数(教室)					II-2(2)ウ		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	8	8	8	9	10	10	10
実績値	8	8					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
個別対応型専任指導員の配置・派遣(人工)					II-2(2)ウ		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			5	5	6	7	7
実績値		3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供のための校内適応指導教室を設置し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室や、学校に登校するが教室に入れない子供のための校内適応指導教室を設置した。
- ・校内適応指導教室支援員を配置した。
- ・ほっとエリア阿多古でチャレンジ教室(自然体験教室)を開催した。
- ・不登校対策推進協議会を年2回開催した。
- ・個別対応が必要な児童生徒を受け入れるため、個別対応専任指導員を配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室と学校に登校はするが、教室に入れない子供に対応する校内適応指導教室を両輪として、一人一人のニーズに応じた支援を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立をめざし、一人一人のニーズに応じた支援のため、校内外の適応指導教室を運営するとともに、個別対応が必要な児童生徒を受け入れるための教室を設置・拡充する。

補助シート (事業名) 不登校児支援推進事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
82	学校や家庭、専門機関と連携、支援を行い、不登校児童生徒の自立を促す。	不登校児童生徒が、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、適切な支援や働きかけを行う。	不登校児童生徒が、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、適切な支援や働きかけを行う。	不登校児童生徒が、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、適切な支援や働きかけを行う。

令和2年度

(管理番号)

02 02 04 03 005110000 06

(担当課)

指導課

(責任者)

野秋 愛美

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 理科・ものづくり教育支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域支援ネットワーク「浜松RAIN房」の活動を支援する。

【事業対象】 市内小中学校及び関係市民団体

◇事業の概要

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援するため、負担金を支出する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23		一般会計	自治事務(その他)		○	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,500	4,500				
	決算	4,500					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,500	4,500				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	1,400				
人工	正規	0.1	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.3	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

大学・企業・行政が連携し、地域に根ざす優れた人材を地域で育てる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
理科・ものづくりプログラムの小中学校への提供回数(回)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	50	50	50	50	50	50	50
実績値	50	42					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
小中学校の教員を対象とした理科・ものづくり研修の回数(回)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10	10	10	10	10	10	10
実績値	10	8					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

静岡大学と連携し、地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援するため、負担金を支出した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援し、理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援する。